

61年度市政功労者 自治・教育・産業などで12人を表彰

長年にわたって市の発展に貢献された方々を讃える「六十一年度の市政功労者」が、自治、産業など五部門、十二人の方々に決まりました。表彰式は九月二十一日、市民文化会館で行われ、畠山市長が十二人の方々に表彰状と記念品を贈り功績を讃えました。

自治功労

◇安達 友一氏 (二井田・62歳)



二井田村収入役、大館市議会議員として長年にわたり市政の発展に尽くされました。

◇畠沢清五郎氏 (二井山・77歳)



花岡町、花矢町、大館市議会議員として長年にわたり市政発展に尽くされました。

教育功労

◇岩谷 正一氏 (上代野・57歳)

◇猪股 次郎氏 (獅子ヶ森・60歳)



長木公民館運営審議会委員として長年にわたり地域社会教育の振興に尽くされました。

◇小畑 セツ氏 (二井田・61歳)



民生、児童委員として長年にわたり民生の安定と明るい地域づくりに尽くされました。

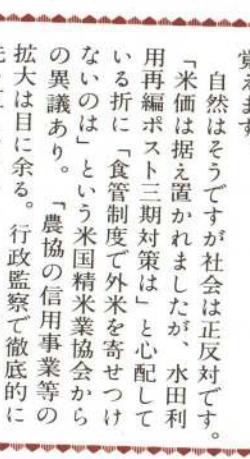
一般功労

◇猪股 次郎氏 (獅子ヶ森・60歳)



二井田公民館運営審議会委員として、また二井田婦人会長として長年にわたり地域社会教育の振興と婦人の地位向上に尽くされました。

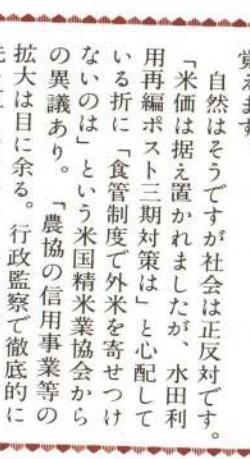
◇山本 久松氏 (花岡町・76歳)



一夜にして七百円もの株価暴落に見られるような財テク等々を思うとき、秋の風情をゆったりと味わう余裕のない現代を、松尾芭蕉が眠りを覚ましたら何というでしょうか。

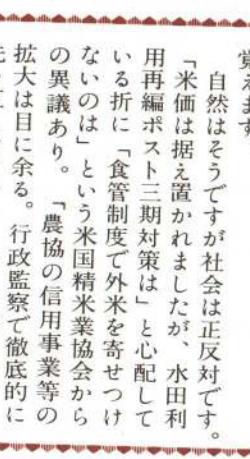
保健衛生功労

◇小田 けい氏 (山神台・76歳)



学校医として長年にわたり児童の検診に努め、疾病予防対策に尽力されました。

◇武内 謙三氏 (長倉町・74歳)



時代が違うといつてしまえばそれでですが、"動"の中の"動"だけでは判断を誤ります。誤った判断がとり返しづかない今日だけに"動"の中の"静"を求めるものです。

実りの秋は収穫の秋です。さりとて、ぼ鍋でもんと、地酒を汲み交わし陽気に語りましょう。飲みながら仕事の話はやめようという方もいますが、酒の肴は自然体が一番です。「議論よし、夢よし、激動の秋よし」飲んで食べて、笑って、歌って、語って心を洗濯し、冷静になつて、また"動"の中に飛び込みましょう。ただし一日酔いはなしにですよ。

糸井内村、大館市議会議員として、また農業委員として長年にわたり市政の発展に尽くされました。

市商工会議所役員として長年にわたり市の商工業発展に尽くされました。

市長の対話ノート



No.140

活動の秋

ススキが風にゆれ、ズムシの音を聞き、静かな中にも秋の移り変わりを感じます。

自然是そうですが社会は正反対です。

「米価は据え置かれましたが、水田利用再編ポスト三期対策は」と心配している折に、「食管制度で外米を寄せつけないのは」という米国精米業協会からの異議あり。「農協の信用事業等の拡大は目に余る。行政監察で徹底的に洗い直しをする」という総務庁長官の発言……。

「米価は据え置かれましたが、水田利用再編ポスト三期対策は」と心配している折に、「食管制度で外米を寄せつけないのは」という米国精米業協会からの異議あり。「農協の信用事業等の拡大は目に余る。行政監察で徹底的に洗い直しをする」という総務庁長官の発言……。